



**稲葉教育委員** 子どもファースト

**川合ライオンズクラブ代表**

**児玉青年会議所代表** 会員は 40 歳未満。わんぱく相撲を開催している

**小笠更生保護女性会代表** 子ども食堂を立ち上げている。小さい頃からの成長を見届けることができる

**夏目蒲郡高校教頭** 稲葉校長の代理で出席。R8 入学生よりアート系列を立ち上げた

**山本市 P 連代表** 竹島小で PTA 会長をしている

**小田公民館連合会代表** 大塚公民館長。公民館は子どもから町民への情報発信の場となっている。

**坪井 子ども会連絡協議会代表小林の代理** 子ども会の様子は大分変わってきている。子どもはやりたがっているのに役員の負担を嫌がって保護者が辞めさせる。どのようにしたら保護者の協力が得られるか。

**市川 保育協会代表牧原の代理** 南部保育園長 保育園は働いていたり病気の保護者の代わりに子どもを保育する。安全安心の環境を提供する。R8 より「こども誰でも通園制度」を立ち上げている。

**鈴木小学校校務主任代表** 蒲南小生徒指導担当。今朝も SNS 絡みを対応

**杉浦中学校校務主任代表** 形原中 学校内外での生徒指導、教育支援。SNS 関連の問題、学校外での深夜徘徊などの生徒指導案件が増えてきている。教員だけでは解決できないので、他の機関の力を借りながら対応している。

#### <幹事>

**松井教育政策課長** 3月まで協働まちづくり課におり、多くの皆さんに協力いただいた。現在は複合施設、図書館の担当

## 6 意見交換

### ① 蒲郡警察署生活安全課長より:青少年の非行・犯罪・補導状況の報告

蒲郡警察署生活安全課 阿部亮介課長

2年前まで少年係長として蒲郡警察署にいた。

新型コロナの影響で減っていた刑法犯少年は、昨年 1.5 倍に増えた。(愛知県下 R3 年 1354 人→R7 年 2050 人)蒲郡も昨年犯罪・触法少年は 40 名で前年度比 26 人増となっている。今年は 3 月末で 1 名だが、被害が出た犯罪についての数字のため、今後数字が増える可能性がある。不良行為少年は 198 人で 10 人減少している。少年についての注意事項は 4 点

- ・大麻…年々増えていて、昨年県下 97 人 SNS を通じて入手
- ・オーバードーズ…用量を守らず大量に摂取する自傷行為。高校生、中学生等。学力に関係なし。注目してほしい、心配してほしいという気持ちが見られる。きっかけは SNS
- ・闇バイト…高額報酬のアルバイトに自分で応募、SNS を通じて募集
- ・子どもの性被害…かつては高校生が多かったが、小学校低学年も増えてきている。SNS を通じての被害。小さい頃から中古スマホ等を使用している。周りの大人はスマホを見て子どもを見てくれない。でも、SNS の中の大人は否定せずにその子を認めてくれる。

いろいろな機会でも SNS はどういうものかを子どもたちに伝えることが必要

○県内の犯罪情勢について

特殊詐欺、偽警察詐欺が増えている。地元から遠い警察官から電話。あなたの口座が使われている。遠くの警察署にすぐ来るように言われる。断ると LINE に誘導しビデオ通話。警察官の制服を着ている。本物の警察官は LINE を使うことはない。その他 SNS 投資詐欺(最初の数回は利益が返ってくる。信用させてから大金を詐取) SNS ロマンズ詐欺、きれいな人の写真をどこかから持ってきてやり取り。信頼させたところでお金の話を出してくる。犯人のやり方が巧妙で、見破るのが難しくなっている。

**鈴木所長** 質問、意見等ありませんか。

**鈴木所長** SNSの使い方、マナーができていないなど、蒲郡だけでなく全国的に問題となっている。SNSやスマホの使用に関して、どのように指導していけばよいだろうか。

**鈴木社会教育審議会代表** ガールスカウトでは、愛知県警で紹介しているSNSに関するすごろく(サイバーポリスゲームのことと思われる)を子どもと親と一緒にやっている。そのほか、特殊詐欺に関する動画を学校などで見てはどうか。

**鈴木所長** 西浦保育園の園長さんから、「子どもを泣き止ますようにスマホを見せるのではなくて、泣く前からスマホを見せている」という話を聞いた。保育園ではどうか。

**市川南部保育園長** ユーチューブ、ゲーム、スマホをやっているという話は聞く

**鈴木小学校校務主任代表** 親のスマホを使うケースを含め、小学校低学年の半分は使っている。

**鈴木所長** 具体的な事例があれば。

**鈴木小学校校務主任代表** SNSの児童間のトラブルで親を巻き込んでいる。親のアカウントでグループに入ったところ、グループ全体に親の情報が広まってしまった。スマホの購入は子どもだけではできないものであり、学校としてはスマホの使用に関する指導は家庭でお願いしたいと考える。

**山本市P連代表** 我が家は小6、小4の息子がいる。習い事の関係で持たせている。位置情報ON、着信のみ、SNS設定、アプリのダウンロード制限などの管理をしている。周りを見ると、SNSトラブルがあるようだ。LINEのグループに他人の写真を載せて笑って遊ぶなど。子どもへの教育は大事だが、保護者への教育も必要。

**鈴木所長** それぞれの組織で情報モラルの講習をやっているという例があれば

**杉浦中学校校務主任代表** スマホ所持率はほぼ10割(親のスマホを使う例を含める)家でテレビを見なくなっている。サザエさんやちびまる子ちゃんを知らない子が半分。ニュースも6~7割知らない。LINEで悪口、グループ外される、写真や動画、プロフィールに個人情報が書かれているなど。警視庁の動画を見せながら指導している。

**夏目蒲郡高校教頭** スマホは10割。朝STから夕STまで使用不可、カバンにしまうことになっている。持ち込みは禁止していない。SNSに関わるものが問題行動を占めている。以前多かった個人情報アップはなくなっている。見えないところでいじめが発生する。今後、スマホのルールを生徒たちに考えさせる行事を予定

**鈴木所長** スマホを離れて活字はいいよという取り組みはないか。

**深津ブックパートナー代表** おすすめの本を何冊かまとめたものを作っている。図書館に来る生徒さんは片手にスマホを持っている。フリーWi-Fiがある。

(14:05)

## ② 市内小中学生の現状について

学校教育課 柴田洋文課長補佐 別添資料をもとに報告

### 1 心配な状況について

(1)市内小中学生の不登校について

(2)SNSの利用について

### 2 小中一貫教育について

### 3 蒲郡市部活動地域展開「文化・スポーツ教室」について

**鈴木所長** 何か質問・ご意見ありましたら。

**小笠更生保護女性会代表** 子ども食堂6年やっている。学校に行っていない子を見かけ、子ども食堂に誘った。学校以外のレクリエーションの機会があるといい。

**鈴木がまごおり若者サポートステーション代表** 若年無業者就労支援、不登校の子ども支援している。SNSに走る子は、孤立している。リアルの人とつながる方法を知らない。

関わっている若者は、SNSを上手に使っていて、知り合った人とゲームしたり、東京に行ったりしている。相談できる大人が身近にいることも大切。北斗寮の寮生で、お金を振

り込まないと差し押さえられると慌てている子がいた。詐欺だよと教えてあげた。

**石黒よろず相談代表** 不登校相談は来なくなっている。電話相談は子どもから電話がかかってくることはない。

**鈴木所長** 部活動の地域展開についてどうか

**稲吉文化協会代表** 地域の文化活動に協力したいという意見が出ている。一方中学生のアンケートでは休みの日は自由に過ごしたいという意見も多い。伝統的な文化にどうやって興味を持っていただけるか課題がある。

**畑田スポーツ推進委員代表** 初めて聞く。弓道をやっているが、この話は初めて。

**鈴木所長** 浸透してないようですね。協力できることがありましたら、学校教育課、スポーツ推進課、生涯学習課などに連絡をお願いします。

(14:30)

## 7 議事

**鈴木所長** 要項 14 ページ。本年度の地域安全・青少年健全育成市民大会は 10 月 21 日（水）中ホールで実施します。是非ご参加いただき、会を盛り上げてください。

8 閉会のことば 杉本総代連合会代表

(終了 14:32)